

仙北市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部から

お知らせ

☎ 仙北市新型コロナウイルスワクチン接種推進室 ☎ 43-3305

2月20日からスタート！
一部日程が変更になっています

新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種が2月20日から始まります。接種日程(第1クール・第2クール)は、広報2月1日号2ページに掲載していますが、次の日程について追加やワクチンの種類など一部変更となっていますのでご注意ください。

3月1日以降の日程については、広報3月1日号で改めて掲載しますのでご確認ください。

第1クール

期日	時間	会場	予約人数
3月19日(日) (モデルナ)	10:00/11:00	角館	138人
	13:30/14:30/15:30		210人
3月26日(日) (モデルナ)	10:00/11:00	角館	138人
	13:30/14:30/15:30		210人
4月6日(日) (ファイザー)	14:00/15:00	角館	138人
	14:00/15:00/16:00	西木	138人

▶角館…角館交流センター
▶西木…西木コミュニティセンター

第2クール

期日	時間	会場	予約人数
4月13日(日) (モデルナ)	14:00/15:00	角館	138人
	14:00/15:00/16:00	西木	138人
4月20日(日) (ファイザー)	14:00/15:00	角館	198人
	14:00/15:00/16:00	西木	198人
4月27日(日) (モデルナ)	14:00/15:00	角館	198人
	14:00/15:00/16:00	西木	198人

西木地区にお住まいの皆さまへ ご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます

広報2月1日号で3回目の接種日程をお知らせしましたが、西木地区の接種回数と接種人数が少ないことのご指摘をいただいています。会場の確保や医師、看護師などの確保ができなかったことにより、ご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。

このため西木コミュニティセンターでの接種回数を増

やすことができないか検討しています。計画の変更があれば随時お知らせします。

なお、3回目の接種は市内のどこの会場でもできます。送迎などが必要な場合は、角館会場、田沢湖会場へも対応しますので、希望される方は**仙北市新型コロナウイルスワクチン接種推進室(☎43-3305)**へご連絡ください。

接種券はいつ届くの？
2回目の接種順にお送りします

2回目の接種時期	接種券の送付時期	予約開始日
令和3年 7月19日まで	2月16日現在で 送付済み	2月22日(日)～
令和3年7月20日 ～31日	3月1日以降	3月16日(日)～
令和3年8月1日 ～31日	4月1日以降	4月18日(日)～

予約の方法について

電話予約か LINE による予約の二通りです！

電話予約とLINE予約を二重にした場合は、LINE予約が優先されますので、あらかじめご了承ください。

仙北市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンターへお電話ください。

電話

☎0570-038899

(土・日曜日、祝日を除く 9:00～17:00)

右記の二次元コードかLINE IDより仙北市公式LINEアカウントを友達登録。LINE内のワクチン接種予約を選択し、案内のとおり必要事項を入力。

LINE



LINE ID ▶▶
@city.semboku

第16回仙北市芸術文化章授章式

1月23日、仙北市芸術文化協会(加藤義規会長)が主催する「第16回仙北市芸術文化章授章式」が西木温泉ふれあいプラザクリオンで開催され、佐藤ヨツ子さんと安藤満里さんに芸術文化章が贈られました。



佐藤ヨツ子さん
(82歳・田沢湖生保内)

芸術文化章

【地域・民謡】



安藤満里さん
(66歳・角館町上菅沢)

芸術文化章

【地域・音楽】

栄光章

第8回日本美術
展覧会第3科彫刻
の部で入選された
佐藤ヨツ子さん(43歳・
角館町雲然)には、
仙北市芸術文化栄
光章が贈られまし
た。

昭和47年、日本民謡協会田沢湖支部設立時に加入、平成30年まで46年間の運営に積極的に参加し、発展に貢献しました。昭和57年に日本民謡協会全国大会出場、平成7年の同大会に上位入賞し、平成10年秋田民謡協会指導者資格である「民謡講師」資格を取得。平成11年から生保内節元唄教室で講師を務め普及に尽力したとして同協会「貢献賞」を受賞しました。平成16年には「日本民謡協会少年少女民謡民舞指導員」となり、また田沢湖公民館主催の民謡教室で子どもたちへ指導し日本民謡協会「民謡貢献賞」を受賞。平成21年からは4年間生保内節全国大会の審査員を務め、生保内節元唄の普及に尽力するなど地域文化の発展に貢献されました。

平成15年から25年まで田沢湖音楽祭実行委員を務めました。平成21年には「古きピアノに輝くアートプロジェクト」(樺細工で古いピアノを再生)を立ち上げ、代表として毎年コンサートを開催、平成27年からは仙北市内の学校でも行っています。平成26年の国民文化祭・あきた2014では、「クニマスの色はいのちの色」で企画運営・指導を担当。北東北を中心にクラリネットの指導者、コンクールの審査員として活躍、後継者の育成にも努め数多くの優秀なクラリネット奏者を輩出しました。地域の図書館や小中学校でのコンサート、読み聞かせと音楽会の開催、居宅介護施設等の音楽活動などを通して地域文化の発展に貢献されました。



右から、佐藤ヨツ子さんの代理で出席した田沢湖郷土芸能振興会の高橋久吉理事、安藤満里さん、佐藤ヨツ子さん。

**非行防止・健全育成標語
入賞作品をご紹介します**

仙北地区少年保護育成委員会(荒木和子会長)が、市内各小・中学校を対象に募集していた「非行防止・健全育成標語」の入賞作品が、応募総数664点の中から決定しました。入賞者並びに作品は次のとおりです。(敬称略)

小学校の部

【優秀賞】

大澤あかり(角館小6年) 書きこんだ その一言は 消せないよ

【優良賞】

中村凌磨(角館小5年) その情報 本当に信じて だいじょうぶ?
草薮桜介(白岩小5年) はん罪は だれかがきつと 見ているぞ
佐藤優羽(西明寺小6年) 「だいじょうぶ。」本当はちがう 気づいてよ
伊東万莉(松木内小4年) 声に出そう 思いはひろがる 友だちの輪



小学校の部で優秀賞に輝いた角館小学校の大澤あかりさん(6年)。

中学校の部

【優秀賞】

草薮司(角館中3年) プライバシー 保護し未来は 非後悔

【優良賞】

相馬日向葵(角館中3年) 消えないよ 必ず残る デジタルタトゥー
佐藤一帆(神代中3年) 古くない? 影口言うの ダサくない?
杉宮結生希(西明寺中1年) あいさつで 地域・人が 笑顔になる
浅利奈那(松木内中3年) とじないで 明るい未来へ 続く道



中学校の部で優秀賞に輝いた角館中学校の草薮司さん(3年)。

諦めないで挑戦し続けて

佐藤彩乃選手が 母校で出場報告

1月21日、東京2020オリンピックのカヌー・スラローム女子カナディアンシングルに出場した佐藤彩乃選手（秋田病理組織細胞診研究センター所属）が母校の神代中学校を訪れ、出場の報告をしました。

報告会は事前に全校生徒から寄せられた質問事項をもとに生徒会長の高田菜花さん（2年）によるインタビュ形式で進められました。

質問は佐藤選手自身に関するところをはじめ、オリンピックや選手村の様子、カヌー競技について、勝負強くなるための秘訣など多岐にわたります。

最後に高田さんが「オリンピックを経験した先輩から、私たち神代中学校の生徒にメッセージを」と問いかけると、佐藤選手は「やっている楽しいことだけではなくてつらいこともあると思う。本当につらくて苦しいときは逃げても大丈夫だが、やっていることのおかげなのであれば諦めず頑張っていることにつながるのであれば諦めずに頑張りたい」と母校の生徒にエールを送りました。

三浦永遠さん（2年）に感想を伺うと「元々すごく気になっていた選手村やカヌーのことなど佐藤彩乃さんから直接聞くことができて非常にいい経験ができた」と話し、卓球部に所属する三浦さんは「緊張すると我を忘れてしまう。自分を保つということを見習いたい」と佐藤選手のアドバイ



生徒たちの質問に答える佐藤選手（右）。



最後は佐藤選手を囲んで記念撮影。

温泉の魅力と効果的な入浴方法を学ぶ



「すきま風もごちそう」と話す佐藤さん。



効果的な入浴法について解説する石澤さん。

1月15日、温泉の魅力と毎日の効果的な入浴方法を紹介する「温泉と入浴講座」が秋田市と仙北市で開催されました。

この講座は、仙北市、（一社）田沢湖・角館観光協会、JR秋田支社の3者で締結している観光まちづくりに関する連携協定の取り組みの一つである五感楽農事業の一環として企画されたものです。

角館庁舎で開催された同講座には17人が参加。

はじめに、鶴の湯温泉の佐藤和志代表取締役会長が「鶴の湯

温泉の歴史とこれから」と題して講演しました。佐藤会長は食材はなるべく地元のものを使い、清潔感を大事にしながら古いものを活かすのがこだわりと話します。また、スキの活用について「旅館にスキがあるというのは手入れが悪いと思われるが、一冬で壊れる垣根の代わりに目隠ししたい部分に置いたスキが建物の古さに合った」と紹介。秘湯というイメージに合うような雰囲気づくりにも力を入れていそうです。

今後については、「規模拡大や

今以上に近代化をする必要もない。水車、いろり、ランプが似合うような宿であることが生き残れる要素だと思ふ」と話しました。

続いて、市と包括連携協定を結んでいる株式会社バスクリンのつくば研究所で入浴と健康維持の関係を研究する薬学博士の石澤太市さんが「バスクリンが指南！毎日の健康的で癒される入浴法」と題して講演。石澤さんは数々の入浴法を試した20年以上の研究データをもとに健康につながる入浴法を提案。効果的な入浴法として「入浴は就寝の1時間〜1時間半前で、少しぬるめのお湯にゆっくりとつかることで、保温効果が高まるほか、リラクセス、良質な睡眠、肌の保湿に効果的」と話します。さらに入浴剤を使用することでこれらの効果が高まるそうです。

講座の参加者からは「鶴の湯温泉さんに泉質が違う四つの源泉があることを知らなかった。苦労もあわせて歴史を詳しく知ることができて楽しかった」と話し、続けて「入浴で健康的になれることを聞いて入りたくなった」と温泉と入浴への関心を深めたようでした。

スマートフォンアプリで地域課題に挑む

デジタル人材育成講座発表会

1月29日、デジタル人材育成講座の成果発表会がオンラインで開催されました。

スマートフォンアプリの開発体験を通してITスキルの習得をめざす高校生から社会人の受講生10人が3チームに分かれて、地域課題を解決するスマートフォンアプリを開発し、その内容を発表しました。

各チームからは、共助公助に資する除雪状況共有アプリやゲーム感覚で市内の周遊を促す観光情報投稿アプリなどの発表がありました。東京のIT企業であるウフル株式会社の坂本尚也常務執行役員と田口知明市長の審査の結果、学



学校掲示物の電子化アプリの画面。

校掲示物の電子化アプリを発表した社会人の橋本真治さん、青柳嘉克さん、高校生の稲葉優羽さんのチームが優秀賞を受賞しました。

稲葉さんからは「将来はプログラマーになりたいと思っていたが、実際に自分でアプリの企画を考えるのは初めてだったので、よい経験になった」と感想をいただきました。



参加者全員での集合写真。

みんなでつくろう「安全・安心なまち」

仙北市防犯協会生保内支部 青色防犯パトロール隊出動式

1月23日、田沢湖総合開発センターで仙北市防犯協会生保内支部の青色防犯パトロール隊出動式が行われました。

青色防犯パトロールとは、隊員が車両に青色回転灯を装備し、地域住民の防犯意識を啓発する活動です。

同協会生保内支部の熊谷勇一郎支部長は「自動車による自主防犯パトロールにより、地域住民の防犯意識の啓発につながる。発見報告、共通理解を大事にして隊員一体となった活動を展開していきたい」とあいさつしました。

出動宣言が同センター玄関で行われ、「地域住民が安全で安心して生活するために、事故の発生を未然に抑止

できるよう徹底した巡回活動をする」と宣言。その後、号令により班ごとに乗車し、各方面に出発しました。

今後は生保内支部隊員21人が、10台の青色回転灯を装備した車両で各担当地区を巡回していきます。



地域の方々が安全・安心に生活を送ることができるよう防犯活動に取り組みます。

栄光・表彰

令和3年度秋田県小学生人権標語コンテスト

白岩小学校に感謝状

この度、令和3年度秋田県小学生人権標語コンテストにおいて、多数の児童から優秀な作品の応募があり、コンテストの実施に貢献したとして、白岩小学校に秋田県地方務局長と秋田県人権擁護委員連合会長から感謝状が贈呈されました。

同コンテストは、秋田県人権啓発活動ネットワーク協議会が広く人権意識の高揚を目的に行っているもので、今年度は秋田県内145校、9323点の応募がありました。

1月28日に行われた感謝状の伝達には、6年生5人が出席。角館地区の人権擁護委員の千葉悟見さんから感謝状を受け取りました。

福原昭信校長は「この後、職員の間画により全学年でいじめに関する道德の授業を予定している。授業を通して児童たちの人権に関する理解を深めていきたい」と話しました。



左から人権擁護委員の千葉悟見さん、黒澤福子さん、白岩小学校6年の高村歩斗さん、千葉桜誠さん、草粥爽華さん、渡辺星乃さん、藤元向日葵さん、同委員の茂木一代さん。

仙北市×仙北市社会福祉協議会

災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定を締結



仙北市社会福祉協議会の能美忠義会長（右）と田口市長（左）。

1月28日、仙北市と社会福祉法人仙北市社会福祉協議会が仙北市災害ボランティアセンターの設置および運営などに関する協定を締結しました。

これは、市内で地震や風水害などによる災害が発生した際に、迅速かつ効率的に被災者に対する生活支援活動を行うことができるように災害ボランティアセンターの設置とその運営などに関して具体的な事項を定めたものです。

今回の協定でセンターの設置場所や業務、資機材などの確保、設置・運営に関する経費などについて取り決めが交わされたことにより、災害時、仙北市と同協議会は協定にもとづき連携を図ることになります。

鳥帽子於也の知識深める

第4回文化財講習会を開催

市民の皆さまに文化財への関心を深めていただくため、第4回文化財講習会を1月26日、角館庁舎で開催しました。

仙北市角館町文化財保護協会の中田達男会長を講師に迎え、「仙北市の文化財を知ろう！鳥帽子於也を楽しむ」と題して講演いただき、鳥帽子於也が作成された時代背景や、使用されていた家塾の説明を皮切りに、興味深い内容を分かりやすく丁寧に伝える講習会となり、11人の参加者は聞き入っていました。

文化財保護室では、引き続き令和4年度も文化財講習会を実施する予定です。日程などが決まりましたら、広報で周知しますので、楽しみにお待ちください。



講師の中田達男会長。

第19回秋田県小学生インドアソフトテニス選手権大会

加藤・進藤ペアが準優勝

1月23日、第19回秋田県小学生インドアソフトテニス選手権大会が二



加藤さん（左・生保内小6年）と進藤さん（右・西明寺小6年）ペア。

大館市）で開催され、男子1部リーグに出場した仙北市ジュニアの加藤悠愛・進藤天翔ペアが準優勝に輝きました。

順当に勝ち進み、初の決勝進出となった加藤・進藤ペアは、接戦の末惜しくも敗れましたが、最後まで粘り強い戦いで健闘しました。

日本スポーツ少年団顕彰

故梁田純一郎さんに感謝状

この度、日本スポーツ少年団顕彰において、長年にわたるスポーツ少年団の発展に貢献したとして日本スポーツ少年団から故梁田純一郎さんに感謝状が贈られました。

梁田さんは西木村時代から村スポーツ少年団本部の副本部長を務めたほか、平成2年にはきたうらアクアスポーツ少年団（のちにアクアスポーツ少年団）の設立に尽力されました。

市町村合併後も仙北市スポーツ少年団本部の副本部長を担ったほか、同少年団の代表として特に水泳の指導に積極的に取り組み、技術的な向上はもちろん子どもたちの心身の育成にありましました。また、スポーツ少年団の活動にとどまらず、市内外の小学校で広く水泳を指導するなど子どもたちの交流を通じてスポーツの楽しさを伝え続けました。



故梁田純一郎さん。

感謝状はこのような生前の梁田さんの功績に対して贈られたものです。

1月25日、市役所西木庁舎に報告に訪れた奥様の梁田美和子さんは「子どもたちと接し、一



左から娘さんの門脇砂絵美さん、奥様の梁田美和子さん、須田教育長。

第49回マーチングバンド全国大会

ドリムハーモニーがグッドパフォーマンズ賞を受賞

昨年の12月11日、さいたまスーパーアリーナで開催された第49回マーチングバンド全国大会（一般社団法人日本マーチングバンド協会主催）に出場した角館小学校金管バンド部ドリムハーモニーがグッドパフォーマンズ賞を受賞し、1月18日に教育長へ報告に訪れました。報告に訪れたのは、部員を代表して部長の若松海那さん、副部長の金谷ひよのさん、大石果穂さんの3人。

昨年の初出場に続き、今年も東北代表として全国大会への出場を決めたドリムハーモニー。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響でビデオ審査となったため、会場での披露は初めてとなりました。

憧れていたさいたまスーパーアリーナについて「今まで演奏してきた会場よりもすごく広くてびっくりした」と、3人は口をそろえて話します。

出場したのは3年生から6年生の34人。「闘龍舞華」とう

りゆうまいか」をテーマに、古代中国の美しい情景や伝統文化、戦いを演奏やパフォーマンスで表現しました。昨年の会場での披露が叶わなかった先輩たちの応援を受け取って本番に臨んだ部員の皆さん。若松さんは「ミスしてしまっただけ、全体を見たときには音が出ていたし、みんなの絆が詰まった演奏ができた」、金谷さんは「間違ったところも含めて最高だった」、大石さんは「思い返すとミスもあつたがそれも含めていい演奏・演技ができた」と振り返ります。

また、顧問の高橋猛先生は「6年生がリードして練習を進めてくれるので上達するスピードが速かったと思う。子どもたちのミスしそうなところは予想できたが本番は心配だったところがすべてうまくいった。完璧なショーだったと思う」と評価しました。

後輩たちには自分たちの意志を継いで、ぜひ来年も全国



報告に訪れた（左から）金谷ひよのさん、若松海那さん、大石果穂さん。

大会出場を目指してほしいと期待を寄せる3人。若松さんは、「マーチングはみんなが主役だからこそみんなが輝いて見える。楽器を吹くことは日常生活にはない初めてのことで。全国大会に出場できるまでに上達していく日々の成長を自分で感じ取ることができることが楽しい」と、これから入部する後輩たちに伝えたいと話しました。

全国大会前に撮影した映像を3月までの期間限定で仙北市ホームページ（https://www.city.semboku.akita.jp/citizens/kakusyo_dreamharmony.html）に公開しています。皆さんの息の合った演奏と表現力をぜひご覧ください。